えひめ 土地改良だより

2026.4
Vol.538

みどり
水土里ネット 愛 媛
（愛媛県土地改良事業団体連合会）



禎瑞の芝桜と田んぼ（西条市禎瑞）

CONTENTS

ご挨拶

就任のご挨拶
愛媛県土地改良事業団体連合会　専務理事　門田　宜也……1
就任のご挨拶
愛媛県土地改良事業団体連合会　常務理事　松田　知一……2
就任の御挨拶　愛媛県農林水産部　部長　岡部　直……3
就任のご挨拶
愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課
課長　大原　増樹……4

予算情報

愛媛県の令和８年度当初予算の概要……5

トピックス

愛媛県土地改良事業団体連合会第68回通常総会を開催……6
全国水土里ネット第68回通常総会及び
全国水土里ネット表彰式開催……8
多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ……9
令和７年度　多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰
～大洲市 樫谷地域資源保全会が優秀賞を受賞～……9
農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会の開催……10

取組事業の紹介

畦畔の維持管理の省力化と景観形成について……11

水土里ネット情報

水土里ネット愛媛　理事会開催……12
愛媛県多面的機能支払推進協議会　令和７年度通常総会開催…13
令和７年度 愛媛県農業用水小水力等発電推進協議会 通常総会…14

職員紹介

愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動……14
愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動（係長以上）……15

お知らせ

「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集……8
土地改良区における適正な会計処理体制の構築について……10
多面的機能支払交付金に取り組む皆様へ
～抽出検査での指導事項について～……13
「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2025入賞作品決定！……16
ため池管理者のみなさんへ－ため池の点検をしましょう！－…17
特定外来生物ナガエツルノゲイトウに関する注意喚起について…18



就任のご挨拶

愛媛県土地改良事業団体連合会
専務理事　**門田宣也**

春らしく穏やかな気候に心和む季節となりました。

皆様方におかれましては、平素より、水土里ネット愛媛の活動･運営に格別のご理解とご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

私こと、３月24日開催の理事会においてご推挙を賜り、４月１日付けで専務理事に就任いたしました。もとより、微力ではございますが、決意を新たにして、本会の発展のために精一杯尽力して参る所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、本年２月開催のミラノ・コルティナオリンピックでは、日本選手団が、冬季オリンピックとしては史上最多となる24個のメダルを獲得するなど、多くの勇気と感動を与えてくれました。一方、「平和の祭典」のさなかも、ウクライナで戦争が続くなか、２月末には、アメリカ・イラン戦争が始まり、ホルムズ海峡の緊迫化に伴い、日本のエネルギー安全保障に深刻な影響が懸念されております。

こうした国際情勢や国内における農業者の減少、高齢化などを背景とする食料安全保障のリスクから我が国の食料生産を支える役割はこれまでにも増して生産性の高い農業基盤整備の推進が必要となります。

令和６年に改正された「食料･農業･農村基本法」の基本理念に掲げられた「食料安全保障の確保」「農業の持続的な発展」等の実現に向け、初動の５年間で農業の構造転換を集中的に進めるため、各種施策が昨年から実施されており､本県農業の重要課題でもある担い手対策や中山間地域対策などが、着実に進められるものと大いに期待しております。

令和８年度の政府予算案では、農業農村整備事業関係予算は4,504億円が計上され、令和７年度補正予算と合わせ、6,942億円と、近年では最大規模の予算が確保されており、国、県関係者のご尽力並びに会員の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝しております。

また、近年男女共同参画の推進が進み、土地改良区に対しましては、男女共同参画基本計画（令和７年４月閣議決定）において「令和12年度までに土地改良区（連合含む）の理事に占める女性の割合を10％とする。」と目標が掲げられていることから、本会におきましても、本年２月の通常総会において定款の一部改正を行い、女性理事２名を増員することにいたしました。このことは、業務を推進するうえでも組織運営に新しい視点が増え、関係団体や一般の方々にも本会の存在意義が広く認識される機会につながるものと考えております。

水土里ネット愛媛といたしましては、愛媛の農業・農村が将来にわたり、良好な状態で引き継がれるよう、「産地の生産力強化」や「県土の強靭化」に向けまして、引き続き、農業農村整備事業の推進や必要予算の確保に、全力で取り組んで参りますので、今後とも、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、国際社会に一日も早く平穏な日常が戻ってくることを願うとともに、皆様方の今後益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



就任のご挨拶

愛媛県土地改良事業団体連合会
常務理事　**松　田　知　一**

桜花爛漫の候、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、皆様には日頃から当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

この度、理事の皆様からのご推挙をいただき、当会常務理事を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、愛媛県の農業農村の発展に向け、全力を尽くす所存ですので引き続き格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、令和８年度当初の農業農村整備事業関連予算は、昨年度を40億円上回る4,504億円が可決・成立いたしました。昨年12月に成立いたしました７年度補正予算2,439億円を加えますと、令和７年度に比べ443億円大幅増額の6,942億円と近年にない大型予算が確保されたところです。このことは、改正された「食料・農業・農村基本法」や「土地改良法」に基づき、平時からの食料安全保障を実現する観点から、令和７年度からの５年間を「農業の構造転換を集中的に推進」することが決定されたことを背景としています。

そのうち、農業農村整備関連事業では、食料自給率の確保に向け、農家が減少する現下においても対応できる「スマート農業」の実装を図るための、農地の大区画化をはじめとする基盤整備のほか、農業に必要不可欠な「農業水利施設の戦略的な保全管理」、農業・農村の強靭化に向けた「防災・減災対策」を推進するとされています。

このことにより、農地の大区画化等関連として当初・補正予算併せて740億円が、また防災・減災対策に補正予算として1,378億円などが措置されており、本県農業農村の重要な課題である、ほ場整備事業や水利施設の保全対策、ため池を中心とする防災・減災がさらに進むのではないかと大きく期待をしております。

一方で、整備した基盤の保全・管理を担う、土地改良区を中心とする地元の体制強化も待ったなしの状況です。

改正土地改良法では、土地改良区を中心として市町等多様な主体と連携して、土地改良施設を保全する体制づくり（通称：水土里ビジョン）が位置付けられました。この制度は高齢化と減少が続く土地改良区や農家だけでは、施設の管理運営が困難になりつつある現状を踏まえ、土地改良施設のみならず、末端の関連施設等も含め保全管理の在り方を面的にとらえ、関係者の協働によって適切に維持・保全しようとするもので、施設を健全な状態で次世代に引き継ぐ対策としては有効であると考えられます。

当会としましては、国の新たな方向性や施策を注視しながら、愛媛の農業農村が抱える課題に対応するため、引き続き農業農村整備関連予算の安定確保はもとより、ため池適正管理のサポートや、複式簿記をはじめとする各種土地改良区への支援など役職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、当会会員の皆様をはじめ、土地改良に関連する皆様の益々のご健康、ご活躍を心からお祈りし、就任のご挨拶とさせていただきます。



就任の御挨拶

愛媛県農林水産部
部長 岡部　直

春暖の候、皆様方には益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、４月１日付けで愛媛県農林水産部長を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、本県農業の振興のため、全力を尽くす所存ですので、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年末に閣議決定された国の令和８年度当初予算案では、対前年度比101％となる4,504億円の農業農村整備事業予算が確保されました。これも皆様方の多大なるお力添えの賜物であり、心から感謝申し上げますとともに、将来にわたり本県農業を維持・発展させていくため、引き続き、生産基盤の強化に不可欠な農業農村整備事業予算の確保に全力で取り組んでまいります。

御案内のとおり、本県は、中山間地域が県土の６割を占めるなど、農業生産条件が厳しい中、農家の方々のたゆまぬ御努力により、各地域の気候や土地条件を活かした多彩な農業が展開されており、令和５年産が２年ぶりに全国１位に返り咲いたかんきつのほか、キウイフルーツやはだか麦など、全国に誇る良質で多種多様な農産物を産出しています。

しかしながら、本県農業を取り巻く情勢は、人口減少や高齢化による担い手の減少が顕著となっているほか、国際情勢の不安定化等による資材・燃料価格の高騰や気候変動など、急速な状況変化に直面しております。

このような中、本県では、これらの状況変化に対応できるよう、本県農林水産業の目指すべき方向性と、それを実現するための主な施策をまとめた「えひめ農林水産業振興プラン2026」を今年３月に策定し、多様な担い手の確保・育成、生産性向上に向けた農林水産業 DX の推進、西日本豪雨災害からの創造的復興などに取り組むこととしております。

このうち西日本豪雨災害からの創造的復興では、「原形復旧」「改良復旧」は一部園地で収穫が開始されているほか、残る「再編復旧」においても、全４地区で苗木の植栽が開始されるなど、着実に復興が進んでいます。

とりわけ、昨年度末に整備が完了した今治市大三島の上浦地区では、JA が一括して整備園地を借り受け、データに基づく栽培技術等を導入した未来型園地に整備し、新規就農者育成の拠点として活用しています。今後とも、復興のシンボルである紅プリンセスをはじめとする高品質果実の生産拠点化や、国内外での販路開拓を推進し、「かんきつ王国えひめ」の持続的な発展を目指してまいります。

また、激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトを効果的に組み合わせた防災・減災対策に取り組むほか、皆様が取り組まれている土地改良施設の保全管理の支援や土地改良区の連携や統合の推進、更には、女性が活躍できる環境づくりを図るため、「えひめ水土里ネット女性の会」のサポートにも取り組んでまいります。

農業・農村は、農産物の生産はもとより、洪水の防止や水資源のかん養、自然環境の保全、さらには美しい景観の形成など様々な多面的機能を有しており、国土の保全とともに、県民の生命、財産、豊かな暮らしを守る重要な役割を担っております。

皆様には、かけがえのないふるさとの貴重な財産を、次世代に確実に承継していくため、農業や農村地域を支える担い手として、大きな期待が寄せられているところでありますので、引き続き、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展に、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げまして、就任の御挨拶といたします。



就任のご挨拶

愛媛県農林水産部農業振興局
農地整備課
課長 **大原増樹**

陽春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、４月１日付けで農林水産部農業振興局農地整備課長を拝命いたしました。もとより微力ではございますが、本県の農業・農村の振興に全力で取り組む所存です。

さて、国では、農業・農村の豊かな未来に向け、農業構造転換集中対策期間で実施する具体的な対策を位置付けるべく、昨年９月に新たな土地改良長期計画を策定し、「生産性の向上等に向けた生産基盤の強化」、「農業用水の安定供給及び排水条件の確保」、「災害リスクに対応する農業・農村の強靭化」、「農村の価値や魅力の創出」を政策課題に位置付け、大区画化やスマート農業の導入による生産コストの低減、水田の畑地化・汎用化等による国内需要等を踏まえた生産の拡大、農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能の確保、激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策等を推進することとされています。

このような中、県としましても、県総合計画ならびに令和７年３月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン2026」の基本方針である「取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、将来にわたり安心して生産活動が継続できる農林水産業の実現」に向け、「西日本豪雨災害からの創造的復興」を最優先に、喫緊の課題である「農業従事者の減少・高齢化」や「頻発化・激甚化する自然災害」に対処するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」を重点に各種農業農村整備事業を展開してまいります。

「西日本豪雨からの創造的復興」では、７年春までに再編復旧４地区全てで営農が再開され、今春には、今治市上浦地区及び宇和島市立間地区白井谷工区で園地整備が完了するなど、着実に復興の歩みを進めています。県としましては、「収穫が始まってこそ完全復興」との共通認識のもと、引き続き受益農家や市町、関係機関の皆様とともに一日も早い完全復興に全力で取り組んでまいります。

次に「担い手対策」では、多様な担い手の育成・確保と農業生産法人等の規模拡大や収益力の強化を後押しする水田のほ場整備や樹園地の再編整備と併せて、日本型直接支払制度の「スマート農業加算」を活用したスマート農業の加速化を図るとともに、スマート農機の導入を契機とした活動組織間の連携拡大を推進してまいります。また、南予用水を始めとする既存のスプリンクラー施設に遠隔操作や遠方監視の機能を追加し、データに基づくかん水・防除が可能となるスプリンクラー施設のICT化にも取り組んでまいります。

また、「防災・減災対策」では、令和２年10月に施行された「ため池工事特措法」に基づく防災重点ため池の集中的かつ計画的な防災工事等の推進に加えて、令和３年４月に開設した「ため池保全サポートセンター」との連携や、県下13か所で運用を開始した「ため池遠隔監視システム」の導入促進等による管理・監視体制の強化など、ハード・ソフトの両面から、農村地域の安全・安心に取り組んでまいります。

本県の農業・農村を取り巻く情勢は、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象の頻発化、人口減少や高齢化など、厳しい状況が続いていますが、今後も愛顔あふれるえひめ農業・農村の実現に向け、オール愛媛で挑戦してまいります。

結びにあたり、皆様のご健勝と更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

愛媛県の令和８年度当初予算の概要

令和８年度当初予算では、「新ステージ」の締めくくりとして、人口動態の変化や生成 AI 等の技術革新、予測困難な国際情勢、気候変動など、急激に進む時代の変化を的確に捉え、複雑化・多様化する県政課題に対し、成果に徹底的にこだわって積極的に政策を展開していく。

また、公約に掲げた西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化の政策三本柱と、デジタル技術の活用など新たな基軸を具体化した総合計画の目標達成に向け、２月補正予算と一体となった切れ目のない対策を講じることで、これまで種を蒔いてきた「新ステージ」の取り組みを成果として結実させ、礎となる県民の安心を守り抜くとともに、愛媛を将来に向けた揺るぎない成長の軌道につなげていくため、知恵を振り絞り、総仕上げとなる予算を編成している。

◆県一般会計予算額：7,827.2億円（前年度当初 7,541.5億円、前年度比 ＋3.8%）

このうち、農地整備課関係では、重点施策である防災・減災対策として「西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた柑橘園地の復旧・復興のための経費」を計上しているほか、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化に対応した担い手対策のための経費」等を計上し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指す。

◆農地整備課関係公共事業費：62.9億円（前年度当初 67.7億円、前年度比 －7.1%）

１　柑橘園地の創造的復興　（699,300千円）

・農地再編復旧整備事業費

（　崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」により、災害に強く生産性の高い園地を創造する。）

２　農業農村を支える担い手対策　（1,767,745千円）

・農道整備事業費、担い手育成基盤整備事業費、小規模農業基盤整備事業費 等

（　意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、産地の生産力を強化する。）

３　農業農村の防災・減災対策　（1,779,639千円）

・ため池防災・減災対策事業費 等

（　決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、農業農村の防災機能を強化する。）

４　農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等　（2,044,276千円）

・かんがい排水事業費、農村総合整備事業費、農業集落排水事業費 等

（　農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取り組みを推進する。）

その他予算として、「国の日本型直接支払制度を活用し、地域の共同活動を支援する経費」や、新たに「災害に強い柑橘産地の形成に向け、農家の自助・共助の体制を構築する経費」を計上。

◆日本型直接支払制度関係予算：20.1億円（前年度当初 20.1億円、前年度比 ±0.0%）

・中山間地域等直接支払交付金事業費、農村環境保全向上活動支援事業費

◆南予用水畑かん施設事前復興体制構築事業費：１１０万円（新規）

令和８年度　当初予算公共事業費（農地整備課）

（単位：千円）

予算事項名	Ｒ７当初予算	Ｒ８当初予算	
	予算額（A）	予算額（B）	対前年比（B）／（A）
かんがい排水事業費	1,844,799	1,655,330	90%
農道整備事業費	435,312	385,782	89%
担い手育成基盤整備事業費	1,509,828	1,127,729	75%
農地再編復旧整備事業費	518,700	699,300	135%
農村総合整備事業費	286,640	241,205	84%
農業集落排水事業費	53,625	104,187	194%
小規模農業基盤整備事業費	137,576	167,234	122%
国営造成施設等管理強化事業費	44,330	43,554	98%
国営緊急農地再編整備事業換地受託費	60,000	87,000	145%
土地改良費計	**4,890,810**	**4,511,321**	**92%**
海岸保全施設整備事業費	377,790	457,800	121%
地すべり対策事業費	177,922	158,581	89%
ため池防災・減災対策事業費	1,171,480	1,038,908	89%
農業水利施設防災対策事業費	117,600	108,150	92%
ため池管理保全推進事業費	37,200	16,200	44%
農地防災事業費計	**1,881,992**	**1,779,639**	**95%**
公共事業費　計	**6,772,802**	**6,290,960**	**93%**

愛媛県土地改良事業団体連合会第68回通常総会を開催



去る２月26日（木）松山市南堀端町のリジェール松山において、菅規行愛媛県副知事、古賀徹中国四国農政局次長をはじめとする来賓の方々を迎え愛媛県土地改良事業団体連合会第68回通常総会が開催された。

総会では、大城一郎会長の開会挨拶の後、多年にわたり土地改良事業に多大な功績のあった団体、個人に対し知事並びに会長より、表彰状が贈られた。

続いて、新居浜市高柳土地改良区の神野師算理事長が議長に選任され議事に入り、令和６年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録をはじめ全９議案が原案どおり可決された。

役員の補欠選任では、四国中央地域より大西賢治四国中央市長、学識経験者として松田知一氏（県土連上席参与）が選任された。

最後に、管家一夫副会長が、農業農村整備事業の計画的な推進のため、必要な予算の安定的な確保など５項目の決議を力強く朗読し、満場の拍手により採択され閉会した。

〈土地改良功労者〉

【知事表彰】

（個人）月原　正佳（今治市）
今井　俊一（松山市）
井上富士大（西予市）
（団体）松山市安城寺町土地改良区

【会長表彰】

（個人）西山　久智（西条市）
高尾　健次（今治市）
家久　英雄（松山市）
西村　　豊（大洲市）
（団体）金　章
西条市飯岡土地改良区
銀　賞
新居浜市松神子土地改良区
松山市吉藤土地改良区
銅　章
新居浜市中村土地改良区
松山市和泉土地改良区





【議　事】

第１号議案　令和６年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録について
第２号議案　令和７年度一般会計歳入歳出補正予算について
第３号議案　令和８年度事業計画について
第４号議案　令和８年度賦課基準並びに賦課金徴収について
第５号議案　令和８年度一般会計・特別会計歳入歳出予算について
第６号議案　令和８年度役員報酬について
第７号議案　借入金及び余裕金の預入先について
第８号議案　定款の一部改正について
第９号議案　役員の補欠選任について

決　議

本県の農業・農村は、中山間地域を多く抱えながらも、不利な営農条件を克服する先人たちのたゆまぬ努力と創意工夫により、食料の安定供給はもとより、洪水の防止、水源の涵養、自然環境の保全、伝統・文化の伝承など多面的な機能を発揮し、豊かな県土の発展に大きく貢献してきた。

しかしながら、本格的な人口減少社会の到来により、農業者の減少・高齢化や担い手不足が進み、営農の継続やそれを支える農地、農業用水の管理が困難になるほか、燃油や飼肥料価格の高止まり等により農業経営が圧迫され、さらには世界的な食料情勢の変化により食料安全保障上のリスクが高まるなど、様々な課題に直面している。

このような中、食料安全保障の強化に向け、初動五年間で農業の構造転換を集中的に推し進めるためには、水田の大区画化・汎用化や樹園地の再編のほか、農業水利施設の戦略的な保全管理等を着実に推進していく必要がある。

加えて、近い将来発生が予測される南海トラフ地震や激甚化、頻発化する豪雨災害から県民の生命と財産を守るためには、老朽化が進むため池など農業水利施設の耐震化や豪雨対策など、農村地域の防災減災対策を一層加速していかなければならない。

我々は、これらの対策に極めて有効な農業農村整備事業を強力に推進し、農業の成長産業化、農業・農村の強靱化、更には農村協働力の強化などによる農村の活性化を図るほか、これまで培ってきた経験と技術を活かし、農業・農村を良好な状態で次世代に継承するため、次の事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

一、土地改良長期計画等に基づき、初動五年間で農業の構造転換を集中的に実施するため、農業農村整備事業をスピード感をもって推進できるよう、必要な予算を確保すること。

一、国産農産物の消費拡大を強力に推進するとともに、担い手への農地集積・集約化やスマート農業の展開に向けた、水田の大区画化や樹園地の再編整備、中山間地域におけるきめ細かな整備などを着実に推進し、農業の競争力を強化すること。

一、老朽化した農業水利施設等の更新・長寿命化や豪雨・地震対策を推進すること。特に防災重点農業用ため池を中心に、計画的かつ効果的な防災・減災対策を加速化すること。

一、農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。

一、小規模な土地改良区を重点とした統合整備を推進するとともに、地域ぐるみの保全管理体制の構築など土地改良区の運営基盤強化のための支援を拡充すること。

令和八年二月二十六日

愛媛県土地改良事業団体連合会
第六十八回通常総会

全国水土里ネット第68回通常総会及び全国水土里ネット表彰式開催



去る３月25日(水)、東京都千代田区平河町の全国都市会館において、全国土地改良事業団体連合会第68回通常総会が開催され、令和７年度一般会計収入支出補正予算を含め全11議案が審議され、全議案が全会一致で原案どおり可決承認された。

総会終了後、シェーンバッハ・サボーに会場を移し、全国水土里ネット表彰式が行われた。本県からは南予用水土地改良区連合、新居浜市金子土地改良区の２団体、個人では小野光廣氏（前新居浜市角野土地改良区理事長）が全国水土里ネット会長表彰を受賞された。

また、西条市小松町土地改良区が農業農村整備事業優良地区コンクールにおいて全国水土里ネット会長表彰を受賞された。





南予用水土地改良区連合
河野事務局長

お知らせ

「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集

現在、土地改良団体における男女共同参画が全国的な取り組みとして推進されています。本県において土地改良区の女性職員が相互にネットワークを広げ、情報共有や連携の強化を図ると共に、研修会等や土地改良区の運営に携わる女性の活躍を支援し、活動の活性化・組織化を図るため、**「えひめ水土里ネット女性の会」**を設立しました。

ご興味のある方はぜひお問い合わせ・お申込みください。



（活動内容）
- 会員相互の情報ネットワークの確立
- 研修会や講演会等の開催及び参加
- 男女共同参画に係る情報発信　　など

（会員資格）
会の目的に賛同する農業農村整備に携わる土地改良区等の女性役職員等

（会費）
1,000円／年

◇申し込み及びお問い合わせ先
〒790-0064
松山市愛光町１番24号（県土連ビル）
愛媛県土地改良事業団体連合会
総務部総務課（担当　喜安）
TEL 089-927-7000　FAX 089-927-7001
Mail　somu@ehimedoren.or.jp

多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ

農業・農村の有する多面的機能に対する知見を深め、活動の質や意欲の向上を図るため、令和８年２月12日、松山市立子規記念博物館において「令和７年度　多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ」が開催され、中国四国管内の活動組織や関係者など約500名が参加した。

基調講演では、ミカタスイッチ株式会社 代表取締役 納堂邦弘氏より「地域の魅力発見の鍵は「あるものさがし」にあり」と題して、地域資源を活かした内子町での地域おこしの取組について講演があった。

また、「多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰式」が行われ、今年度、最優秀賞を受賞した鳥取県倉吉市「四王寺地区資源保全会」と山口県周南市「ツルの郷を守る会」が表彰を受け、両組織から活動の紹介があった。

さらに、パネルディスカッションでは、愛媛大学社会共創学部 竹島助教がコーディネーターを務め、農林水産省多面的機能支払推進室 村瀬室長や納堂氏、表彰組織、地域資源を活用した取組を学ぶ愛媛大学の学生がパネリストとして登壇し、多様な人材等との連携による地域保全をテーマに議論が行われた。



基調講演



表彰式

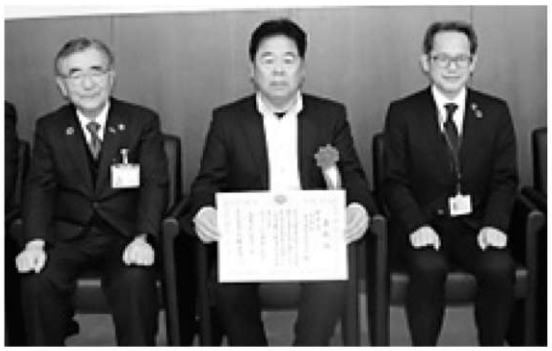


パネルディスカッション

令和７年度　多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰
～大洲市 樫谷地域資源保全会が優秀賞を受賞～

令和８年２月６日、大洲市役所において多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰式が行われ、今年度、優秀賞を受賞した「樫谷地域資源保全会」に表彰状が授与された。

当組織は、棚田オーナー制度による都市住民との交流や棚田の保全管理、コスモスやフジバカマ等を棚田法面や花壇に植栽する景観形成活動等が評価され受賞となった。


樫谷地域資源保全会
代表　城本氏（中央）

農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会の開催

令和８年１月19日、県土連ビルにおいて農林水産省主催の「令和７年度　冬季　農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会」が開催され、農林水産省からは、農村振興局設計課の小谷技術調査官ほか１名、中国四国農政局からは農村振興部設計課の青木課長ほか５名の計８名が出席された。

第１部の予算説明会では、土地改良区、市町、県の担当者約40名に対して、農林水産省から令和８年度予算概算決定の概要、新規・拡充要求事項等について説明があった。

第２部の意見交換会では、愛媛県土地改良事業団体連合会をはじめ、土地改良区・市町・県関係者約30名が参加し、地域における課題、それに対する農業農村整備事業の制度拡充の提案、今後の事業実施等に必要な予算確保の要望等について、活発な意見交換が行われた。



第１部　予算説明会



第２部　意見交換会

お知らせ

土地改良区における適正な会計処理体制の構築について

土地改良区の業務運営にあたっては、これまでも土地改良法その他関係法令等を遵守し、適正に行われるよう御尽力いただいているところですが、他県では横領や贈収賄などの不祥事が毎年発生している状況です。

県におきましては、土地改良法第132条第１項の規定に基づき、土地改良区に対する検査を実施していますが、その結果、毎月末の現金及び預金残高と現金預金出納帳の残高照合の結果を理事会に報告していない案件や、定款で定められた回数の監査が実施されていない案件などが確認されたところです。

土地改良区は、事業の実施に多額の公費が投入されており、税制上の各種優遇措置が認められている、極めて公共性及び公益性の高い団体です。また、会計については、原則として組合員からの賦課金によって賄われております。

このため、役職員の皆様におかれましては、内部牽制機能を十分に発揮し、引き続き責任をもって、適正な会計処理体制の構築に取り組んでいただきますようお願いいたします。

畦畔の維持管理の省力化と景観形成について

東予地方局　農村整備課

愛媛県西条市では、国営緊急農地再編事業「道前平野地区」（以下、道前平野ほ場整備事業）が実施されており、旧丹原町を中心に受益面積681ha（全19団地）で区画整理工事が行われています。R８年２月時点で、19団地のうち７団地の区画整理工事が終わり、新しくなった農地での営農が始まっています。

ほ場整備事業を行う前はコンクリート畦畔だった農地も、工事後は土畦畔となっています。土畦畔の場合、雑草が繁茂するのを防ぐため、年間３～４回の草刈りを実施することとなり、もともと暑熱下での草刈りは維持管理に要する労力が大きいことに加え、近年の気温上昇により更に労力が増しているのが現状です。

区画整理工事が完了している安用団地の場合、畦畔率が約10％となっており、愛媛県の畦畔率約4.8％（令和６年度作物統計調査）と比べても高くなっています。これは、安用団地自体が傾斜地であり、隣のほ場との高低差が大きいことも要因のひとつです。隣のほ場との高低差が大きいと畦畔法面の面積が大きくなり、草刈り等の維持管理に要する労力も大きくなります。

そこで、道前平野ほ場整備事業では、畦畔法面の浸食防止及び維持管理軽減のため、植生シート等によりセンチピードグラス（和名：ムカデ芝）の植生を行っています。センチピードグラスが定着するまでは、丁寧な維持管理を行う必要がありますが、一度定着すると雑草が生えにくくなり、定着前よりも草刈り回数の低減が見込めます。実際にセンチピードグラスが定着している団地の耕作者からは、維持管理が楽になったとお聞きしています。

また、センチピードグラスが定着した畦畔は、維持管理にかかる労力の低減効果だけでなく、美しい田園風景の形成にも寄与しています。米の収穫時期には、青々としたセンチピードグラスに縁どられた金色に輝く稲穂を見ることができます。

将来、ほ場整備事業の進捗に伴い、維持管理の労力を抑えつつ、美しい田園風景が広がっていくのが楽しみです。



センチピードグラスが定着している畦畔（安用団地）



ほ場整備後の風景（安用団地）

水土里ネット愛媛　理事会開催

令和８年３月末での小崎勝次前専務理事の退任に伴い「専務理事の互選について」を議題に理事会が開催され、門田宜也常務理事が新たに専務理事に就任することになった。門田常務理事の専務理事就任に伴い、空席となった常務理事には先の総会で理事に選任された松田知一理事が新たに就任することとなった。なお、就任期間は令和８年４月１日から残任期間の令和９年３月31日となる。

令和８年度の役員一覧

役職名	氏　名	他の役職
会　長	大城　一郎	八幡浜市長、南予用水土地改良区連合理事長
副会長	髙橋　征三	新居浜市上泉川土地改良区理事長、新居浜市洪水土地改良区理事長
副会長	武智　邦典	伊予市長
副会長	管家　一夫	西予市長
専務理事	門田　宜也	学識経験者
常務理事	松田　知一（新任）	学識経験者
理　事	大西　賢治（新任）	四国中央市長
理　事	世良　親臣	今治市土地改良区理事長
理　事	秀野　隆昭	松山市久保田土地改良区理事長
理　事	加藤　　章	東温市長
理　事	河野　忠康	久万高原町長
理　事	二宮　隆久	大洲市長、大洲市土地改良区理事長
理　事	坂本　　浩	松野町長、松野町土地改良区理事長
理　事	中村　維伯	愛南町長、大久保山土地改良区理事長
代表監事	志波　　豊	城川町魚成土地改良区理事長
監　事	砂田　虎善	今治市蒼社川土地改良区理事長
監　事	大内　建作	伊予郡砥部町土地改良区理事長

愛媛県多面的機能支払推進協議会　令和７年度通常総会開催

去る３月16日(月)、県土連ビルにおいて愛媛県多面的機能支払推進協議会令和７年度通常総会が開催されました。

開会にあたり小崎会長より、本制度は、農業･農村にとって欠くことのできない制度である一方で、農業者の減少・高齢化の進行により活動参加者が減少するなど、本制度の取り組み困難となる集落が顕在化しつつあり、国へは、活動組織の更なる体制強化への支援を強力に要請すると共に、今後も会員の皆様と連携し、活動組織や対象農用地の維持に努めていくとの挨拶がありました。

続いて、議事に入りすべての議案が原案どおり可決承認されました。

第１号議案　令和７年度事業報告及び収支決算について
　　[令和７年度事業報告及び収支決算見込みについて]
第２号議案　令和８年度事業計画及び収支予算について
第３号議案　総会での議決に代わる書面議決書による議決について

お知らせ



多面的機能支払交付金に取り組む皆様へ
～抽出検査での指導事項について～



令和７年度の抽出検査において、中国四国農政局から指導がありましたので、事業の適切な実施のため、以下の点にご注意ください。

【総会】

- 欠席者がいる場合は、**総会資料又は議事録により、構成員全員に、議事や会計監査報告の内容を周知**してください。
- **日当や役員報酬、リース代の単価、長寿命化工事の発注方法**については、規約の内規に整理し、毎年総会資料又は総会議事録に添付して、**構成員全員に周知**してください。

【領収書】

- 現金で日当を支払う場合、受領書には**フルネームでサインを行ってください**（サインが困難な場合は押印でも可）。

【その他】

- 不適切会計のリスク低減のため、**現金の取扱いを少なくし、振込を行うことをご検討**ください。
- **草刈等の共同作業では**、事故の防止や早期発見のため、**単独作業は避け、複数人で作業**を行ってください。

令和７年度 愛媛県農業用水小水力等発電推進協議会 通常総会

愛媛県農業用小水力等発電推進協議会では令和７年度通常総会について、総会開催に代えて書面による議案の審議及び採決を行い、以下の議案について承認されました。

第１号議案　令和７年度事業報告について
第２号議案　令和８年度活動計画について

愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動

（令和８年４月１日）

新　　任		旧　　任	氏　名
本　　部	事業部 事業課 主幹（兼係長）	事業部 技術情報課 主幹（兼係長）	松本　真也
	事業部 技術情報課長 （兼換地管理課管理担当）	南予事務所 事業課長	三好　孝英
	事業部 技術情報課 係長 （兼管理換地課管理担当）	南予事務所 事業課 係長	高橋　　徹
	事業部 技術情報課 専門員	事業部 技術情報課 専門員 （水土里情報担当）	藤澤　享史
東予事務所	事業課 技師	事業部 技術情報課 技師	赤西　秀太
南予事務所	副所長（兼事業課長）	事業部 技術情報課長（次長同） （兼管理換地課管理担当）	渡部孝二郎
	事業課 主幹（兼係長）	事業部 事業課 主幹（兼係長）	島瀬　祐美
	事業課 主任	東予事務所 事業課 技師	村上　義雄

退職者

（令和８年３月31日）

職　　名	氏　名
上席参与　※４月１日付（役員就任）	松田　知一

愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動（係長以上）

人事異動一覧表

（令和８年４月１日）

新任			氏名	旧任
	農地整備課	課長	大原　増樹	農林水産部　農業振興局　農地整備課　技幹
		技幹	田尾　光章	今治支局　農村整備課　課長
		主幹（兼務　換地指導専門員）	川村　幸司	八幡浜支局　農村整備第一課　主幹
		主幹	中岡　利康	中予地方局　農村整備一課　企画調整室　主幹
		主幹	毛利　成	土木部　土木管理課　政策マネジメント推進幹
		事業管理係長	井上　裕章	中予地方局　税務管理課　納税室　室長
		計画調整グループ　担当係長	宮田　尚樹	八幡浜支局　地域農業育成室　地域農業育成グループ　担当係長
		技術管理係長	米山　幸佑	農林水産部　農業振興局　農地整備課　技術管理係　専門員
		農村整備係長	大塚　喜之	南予地方局　農村整備課　計画指導グループ　担当係長
東予地方局	農村整備課	主幹	濱井　和久	東予地方局　農村整備課　主幹【四国中央駐在】
		主幹【四国中央駐在】	近藤　俊行	審査課　工事検査室　工事検査専門員
		農村整備グループ　担当係長	伊藤　喜人	東予地方局　農村整備課　主幹
	企画調整室	室長	山内　早苗	東予地方局　農村整備課　企画調整室　主幹
		主幹	向井　知洋	八幡浜支局　農村整備第一課　農村整備グループ　担当係長
		計画指導グループ　担当係長	山本　恭子	農林水産部　農業振興局　農地整備課　農村整備係長
		国営推進グループ　担当係長	大原　康信	中予地方局　農村整備一課　計画指導グループ　担当係長
今治支局	農村整備課	課長	中野　剛	八幡浜支局　農村整備第二課　課長
		主幹	白石　佳子	今治支局　農村整備課　農村整備グループ　担当係長
		農村整備グループ　担当係長	安永　健一	行政経営課　入札監理グループ　担当係長
中予地方局	農村整備第一課	主幹	竹内　崇恵	労政雇用課　職業能力開発グループ　担当係長
		用地事業グループ　担当係長	三好　孝治	福祉総合支援センター　総務課　課長
		農村整備グループ　担当係長	坂井　創	中予地方局　農村整備一課　計画指導グループ　担当係長
	企画調整室	主幹	瀬野　哲一	農林水産部　農業振興局　農地整備課　技術管理係長
		計画指導グループ　担当係長	山脇　秀元	東予地方局　農村整備課　企画調整室　室長
		計画指導グループ　担当係長	渡邊　寛徳	南予地方局　農村整備課　計画指導グループ　担当係長
	農村整備第二課	課長	佐伯　新悟	農林水産部　農業振興局　農地整備課　主幹（兼務　換地指導専門員）
		総合整備グループ　担当係長	二宮　正樹	八幡浜支局　農村整備第二課　南予用水グループ　担当係長
南予地方局	農林水産振興部	部長	臼坂　浩二	農林水産部　農業振興局　農地整備課　課長
	農村整備課	課長	宮﨑　淳司	中予地方局　農村整備第二課　課長
		指導整備グループ　担当係長 【愛南駐在】	小林　和志	今治支局　農村整備課　農村整備グループ　専門員
	企画調整室	室長	笠崎　優介	南予地方局　農村整備課　企画調整室　主幹
		主幹	竹田　修	南予地方局　農村整備課　計画指導グループ　担当係長
		計画指導グループ　担当係長	鎌田　浩徳	東予地方局　農村整備課　農村整備グループ　担当係長
		計画指導グループ　担当係長	柿内　智子	八幡浜支局　農村整備第二課　南予用水グループ　専門員
		計画指導グループ　担当係長	山内　嗣夫	東予地方局　農村整備課　国営推進グループ　担当係長
八幡浜支局	農村整備第一課	主幹	藤田　和夫	土木部　道路建設課　道路事業係　係長
		主幹	菊地　雅浩	南予地方局　農村整備課　指導整備グループ　担当係長【愛南駐在】
		用地事業グループ　担当係長	竹中　香	農林水産研究所　畜産センター　総務室　主任
		副主幹 （兼務　団体指導グループ　担当係長）	大塚　紀幸	南予地方局　農村整備課　課長
	農村整備第二課	課長	永田　静	農林水産部　農業振興局　農地整備課　主幹

退職者一覧表

旧任	氏名
農林水産部　農業振興局　技術監	宮内　真司
農林水産部　農業振興局　農村整備課　副主幹　（兼務　事業管理係長）	西山　俊実
東予地方局　農村整備課　農村整備グループ　担当係長	越智　吉文
東予地方局　農村整備課　企画調整室　計画指導グループ　担当係長	井上　猛
中予地方局　農村整備第一課　農村整備グループ　担当係長	石丸　富久
中予地方局　農村整備第二課　総合整備グループ　担当係長	三木　健義
南予地方局　農林水産振興部　部長	宮田　正孝
南予地方局　農村整備課　企画調整室　室長	坂本　公一

お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2025入賞作品決定！

令和７年４月25日～11月10日に開催した「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2025について、この度入賞作品が決定しました。最優秀賞には、「棚田の人」（撮影場所：泉谷）が選出されたほか、優秀賞２作品、各棚田賞12作品が選ばれました。

			撮影者（敬称略）
〈最優秀賞〉		『棚田の人』（泉谷）	cluster162809
〈優秀賞〉	人物賞	『初めての田植え』（奥内の棚田）	地域未来教育演習
	食べ物賞	該当なし	
	生き物賞	『日が暮れるね…』（雨滝音田の棚田）	まる
〈各棚田賞〉	千町の棚田賞	『棚田の花火』	たけ
	天川の棚田賞	『冬の訪れ』	アラサー大学生
	井内の棚田賞	『田植え上がりの夕景』	訪ね人
	雨滝音田の棚田賞	『夕焼けと棚田』	あき
	奥松瀬川の棚田賞	『緑一色』	ジスペケ
	上林の棚田賞	『階段？』	もう大学生
	下林の棚田賞	『緑のじゅうたん』	ジスペケ
	樫谷棚田賞	『夕陽のオレンジロード映える棚田』	ま～も(*´∀`)♪
	稲積棚田賞	『青空に生える棚田』	ま～も(*´∀`)♪
	堂の坂の棚田賞	『天日干し』	金太郎
	泉谷賞	『棚田を守る』	ゆう
	奥内の棚田賞	『ほほえむ棚田』	あ



最優秀賞『棚田の人』（泉谷）



優秀賞（人物賞）
『初めての田植え』（奥内の棚田）



優秀賞（生き物賞）
『日が暮れるね…』
（雨滝音田の棚田）

この他入賞作品についてはHP「愛媛のたなだん」をご覧ください。

✨「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2026 📷 作品募集中✨

【募集期間】令和８年11月10日（火）まで
（令和７年11月11日以降に撮影した写真が対象です）
ぜひご応募ください♪
詳しくはコチラ　⇒　URL：https://ehime-tanadan.jp

EHIMENOTANADAN

お知らせ

ため池管理者のみなさんへ　－ため池の点検をしましょう！－

ため池を長く安全に利用していくためには、日ごろからの点検が大切です。
本格的な貯水を前に、身近なため池の点検を行いましょう！


浮き・ロープ

【点検のポイント】

◎点検者の安全確保

草刈・点検は、**必ず「複数人」で実施**しましょう。
また、もしもの転落に備えて、**浮き（ペットボトル）やロープも準備**しておきましょう。

◎堤体の草刈り

変状や漏水を確認するための第一歩です。
多面的機能支払交付金や中山間直払制度を活用することも可能です。

◎貯水前の点検・清掃

堤体に亀裂や陥没、浸食が発生していませんか？**ゲートやため池栓の開閉操作・ゴミ詰まり**なども確認しましょう。
また、**洪水吐き周辺の流木やごみ**は、ため池があふれる原因となりますので、取り除いておきましょう。

◎貯水は徐々に、漏水確認

落水後の貯水は、**底樋やのり面・腰石積・地山との境などから水のしみ出しを確認しながら徐々に**行いましょう。

◎点検結果の保存、異変や不安を感じたら早めの報告・相談

点検結果は、記録に残しておくことが大切です。異変や不安を感じたら、**行政やため池保全サポートセンターに相談**してください。点検結果の記録や行政への報告には、スマホでできる**ため池管理アプリの活用が便利**です。
アプリの詳細・登録方法は、お住いの市町又は地方局農村整備課までお問い合わせください。


ため池管理アプリ画面

（お問い合わせ先）

ため池保全サポートセンター		☎089-927-7211
東予地方局	農村整備課	☎0898-68-7321
今治支局	農村整備課	☎0898-31-2151
中予地方局	農村整備第一課	☎089-909-8764
八幡浜支局	農村整備第一課	☎0894-22-5404
南予地方局	農村整備課	☎0895-22-2341

お知らせ

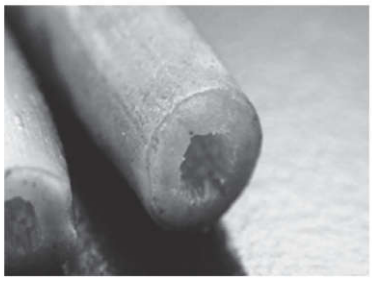
特定外来生物ナガエツルノゲイトウに関する注意喚起について

ナガエツルノゲイトウは、南米原産の植物で世界30か国以上に分布しており、水辺や農地に多く繁殖し問題になっています。愛媛県においても、近年、今治市や西条市において確認されています。

ナガエツルノゲイトウは１cmから２cmほどの小さな茎や根の断片などからも繁殖するほど再生・増殖能力が極めて高く、生態系や農林水産業に被害を及ぼすとして、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく「特定外来生物」に指定されています。愛媛県では、愛媛県ナガエツルノゲイトウ防除実施計画を策定し、下記ウェブサイトにて公開しています。農地や水路等でナガエツルノゲイトウを発見した際には、市町への情報提供をお願いします。

公開 URL https://www.pref.ehime.jp/page/109661.html



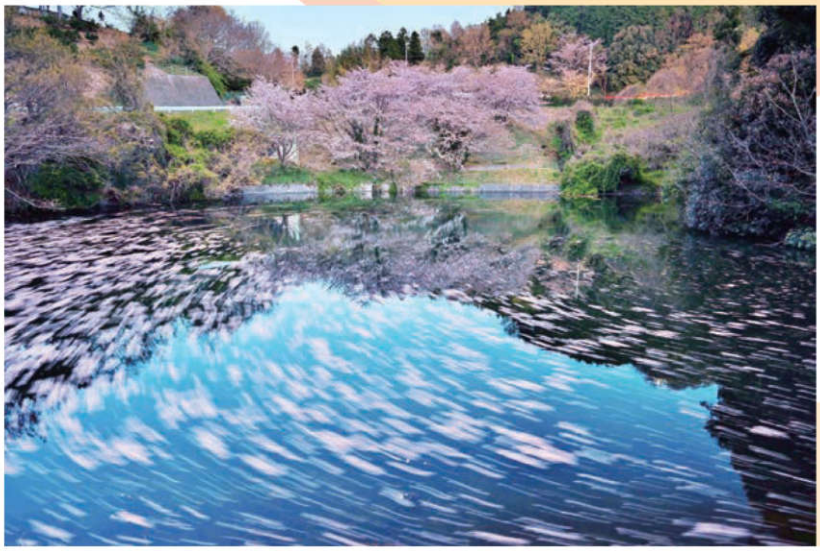


（写真：愛媛県生物多様性センター）

なお、適切な手続きをとらず特定外来生物の保管、運搬等を行うことは、法律により禁止されています。また、拡散への十分な対策を講じずナガエツルノゲイトウを駆除することはかえって増殖を招く恐れがあるため、ご注意ください。



第32回 農業農村整備事業 写真コンテスト
入 選 作 品 の 紹 介



優秀賞「ため池の花筏」
撮影場所：今治市菊間町のため池
撮 影 者：石山　正昭



佳作「自分で作って食べて」
撮影場所：西予市宇和町坪所
撮 影 者：長岡　利昌

水土里ネット愛媛

愛媛県土地改良事業団体連合会

本　　部　松山市愛光町１番24号（県土連ビル）
Tel（089)927-7000(代表)　Fax（089)927-7001
ホームページ http://www.ehimedoren.or.jp
東予事務所　西条市壬生川111番地１
Tel（0898)76-7255(代表)　Fax（0898)76-7257
南予事務所　西予市宇和町卯之町３丁目434番地１
Tel（0894)62-7522(代表)　Fax（0894)62-7525

発行所：愛媛県土地改良事業団体連合会
松山市愛光町１番24号（県土連ビル）
TEL：089-927-7000（代表）
FAX：089-927-7001
編集人：宇都宮栄治
印刷所：セキ株式会社